

自然観察NOW

野幌森林公園自然情報

2006.10.15 No 6

北海道ボランティア・レンジャー協議会

カエデ・モミジ

秋もたけなわになり、紅葉前線が南下中です。春はサクラ前線が北上しますが、今はその逆です。紅葉といえば、まずモミジ・カエデを連想します。そこで、紅葉とモミジ・カエデについて調べてみました。

Q モミジとカエデのちがいは？

カエデは葉の形がカエルの手に似ているところから「カエデ」、モミジは色づく葉が赤や黄色に「もみだす」ように染まることからついた名前で、同じ木の形容を変えた表現で植物学上はいずれも「カエデ」が正式で、カエデ科、カエデ属の分類です。園芸や植木屋さんの世界では、イロハモミジ、オオモミジ、ヤマモミジをモミジ、それ以外をカエデと呼ぶこともあるそうです。

それでは、カエデの仲間の共通した条件というと、それは葉の形ではなく「枝に対して葉の葉柄が左右対象に出ること」、「種子は果柄に対し左右に羽根状の種子がつく」ことです。

Q 紅葉（コウヨウ）と紅葉（モミジ）のちがいは？

紅葉（コウヨウ）という場合は、秋の野山の木々（落葉樹）が冬に備えて落葉する前に紅や黄に葉の色が変わることや、変わった状態を総称していいます。黄色に色づくことも黄葉（コウヨウ）といいますが、これも含んだものを紅葉（コウヨウ）としています。

紅葉（モミジ）というのは、広い意味の紅葉（コウヨウ）のなかで、ひときわ紅色の目立つカエデの仲間を指しています。

Q カエデの仲間の数はどのくらい？

カエデ属は北半球の温帯に広く分布していて、約160種あります。日本には26種みられ、北海道には7種が自生しています。また、江戸時代から数多くの園芸種が作り出され、数百種の及ぶといわれています。

Q 紅葉と黄葉のちがいは？

木が葉を落とす時期になると葉の付け根に離層という層ができ、葉から幹への養分が通りにくくなり、葉のデンプンが糖になってたまります。一方、葉は老化してクロロフィル（葉緑素）が壊れアミノ酸になります。葉はこの糖とアミノ酸で紅葉の成分アントシアニンが合成され、葉が紅色になります。

黄葉はクロロフィル（葉緑素）が分解していく過程で、黄色の色素カロチノイドの分解がゆっくりなので、結果的に黄色の色素カロチノイドが残った状態になり、黄色になります。

Q 紅葉現象の起り方は？

紅葉現象は昼夜の温度差が大きいほど進みます。最低気温が10℃以下になると色づき始め、5~6℃を下回ると急速に進みます。気温の変化が穏やかでクロロフィルが残ると緑と紅を重ねたように色がくすんでしまったり、紅葉時の夜の気温が高いと、昼に蓄えた糖を使ってしまうので鮮やかな色なりません。

貯食行動

秋が深まるにつれ森の中では、動物たちが冬に備えた準備を始めます。シマリスやエゾリスがせっせとドングリを集めたり、野鳥の中にも同様の行動をする種があります。冬に備え、餌をため込む貯食行動についてまとめてみました。

Q 貯食行動とは？

餌をその場で食べずに一時的に貯える（大抵の場合は隠す）行動全般を貯食行動といいますが、全部が必ず隠すとはかぎりません。（モズの「はやにえ」は餌をかくしているとは考えられない）

また、本当に一時的に「食べきれない」から置いておく、というのも含まれます。（私たちが食べ残しを冷蔵庫にいれておく感覚です）

Q どうして貯食するのか？

貯食行動にはいくつかの理由が考えられます。

①餌のない時期のために貯めておく。

②自分より強い個体に占有されてしまったり、競合で危険をおかすリスクを減らすため。

③なわばりを誇示するため。（モズなどの例で、メスに自分のなわばりの質の高いことを知らせる）

Q 貯食行動の種類は？

貯蔵の仕方の種類で分けると

①集中貯蔵（1～数か所に集中的に貯蔵する）

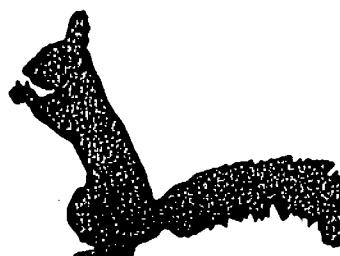
②分散貯蔵（1～数個の餌を総て別々の場所に分散して貯蔵する）

Q 貯蔵した場所を忘れる事はないのか？

各個体は自分が隠した場所を長時間に渡って正確に覚えているという調査があります。また、本当に覚えているのではなく、好みの場所を持っていてそこに隠すとの説もあります。

Q 貯食行動は植物にも得なのか？

貯食する動物は餌がある限り、とにかく貯食します。その結果、暖冬や豊作で隠した分総てを使いきらない場合もあり、それは土の中に残り、芽ができることがあります。ですから、貯食行動をする動物は種子の分散にかかわっているという側面もあります。



観察会情報

●晩秋の森観察会(登録コース) 11月3日(金) 10:00~14:30 大沢口ふれあい交流館 集合

晩秋の森には沢山の落ち葉が見られます。葉の形を手にとって確認できるので、鋸歯や葉脈の観察ができます。今回のコースは健脚むきです。

●秋のありがとう観察会 11月12日(日) 10:00~12:30 大沢口ふれあい交流館 集合

雪の降る前に、ゴミ拾いをしながらの観察会です。楽しませてもらったことに感謝しながら公園内をきれいにしましょう。

●西岡水源地自然観察会 11月23日(木) 10:00~12:30 管理事務所前 集合

管理事務所横のイチイの実を食べに今年もエゾリスがきているでしょうか。木の葉が落ち見通しがきくようになり、野鳥の観察がしやすくなりました。